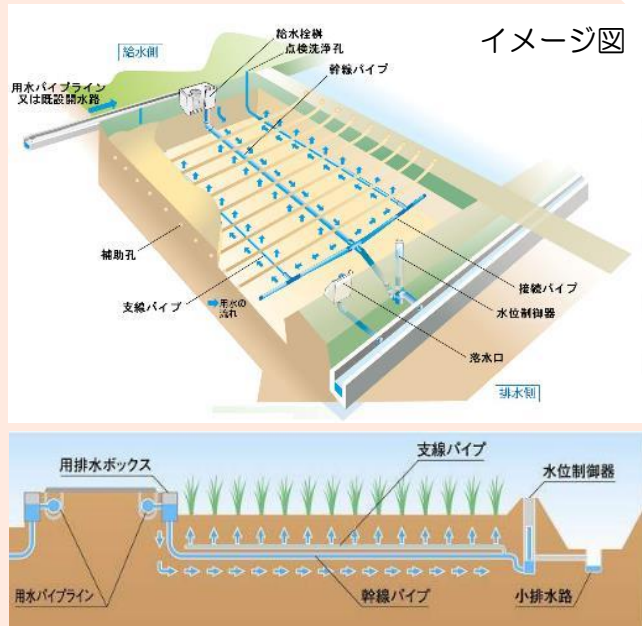


地下水位制御システム（通称：フォアス）とは暗渠排水機能と地下かんがい機能を併せ持った地下水位を制御できるシステムです。フォアスを導入することで地下水位制御が可能となり、高収益性作物の導入、作物の収量・品質向上が期待できます。農業所得向上のために吉岐島内でのフォアスの導入促進に取り組んでいます。

■地下水位制御システム（フォアス）

- ・フォアスは排水と給水を両立したシステムで、降雨時は暗渠から排水を、干天時は地下かんがいを行い、作物栽培に最適な地下水位を維持することが可能となります。
- ・地下水位の調整が可能となるため、用水の過給水が軽減され、適切な用水管理が可能となるとともに、地下水位が一定に保たれることから、湿害や干害を軽減し、農作物の収量及び品質の向上や水田の汎用化を図ることが可能となります。
- ・水位制御は排水側の水位制御器を手動で操作するため、電力や燃料は使用しません。

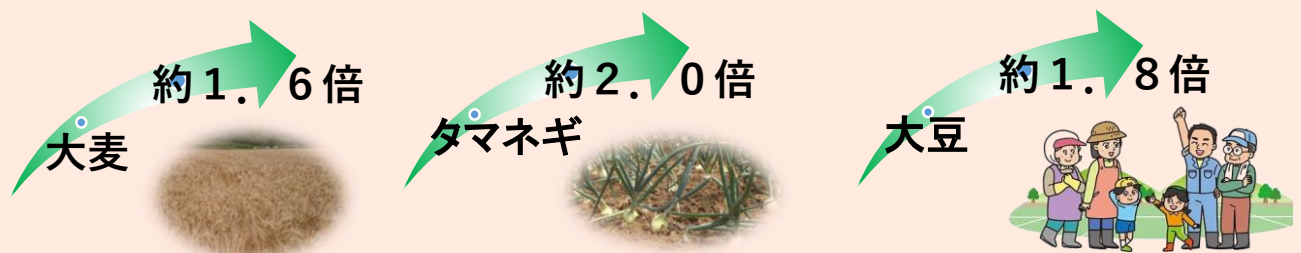


■吉岐での導入実績

- ・平成29年度に県ほ吉岐地区※(1)の水田1.8haに事業費600万円でフォアスを導入。
 - ➡フォアスのモデル圃場として収量、生育状況等の検証を継続して実施中
 - ・令和3年度に県ほ吉岐地区の水田0.9haに事業費400万円でフォアスを導入予定。
 - ・コストは圃場の広さや立地条件にもよりますが、10アール当たり約30万円～50万円。
- ※国・県・市の助成制度を活用することで費用負担を軽減できます。

■吉岐での導入効果

- ・フォアスを導入したモデル圃場で大麦・タマネギ・大豆を試験的に栽培を行ったところ排水性が向上し、収量の増加が確認されました。



■その他期待される導入効果

- ・水稲では中干し等の水管理が楽になります。排水性も向上するため、収穫直前までかん水ができます。また、穂温を下げる効果もあり高温障害に強くなります。
- ・かん水チューブやスプリンクラーよりかん水が簡単で、地下からかん水するため、地表を濡らさないで汚れや病害の発生を低減できます。

**フォアスの導入を検討してみませんか？
興味のある方はご相談ください。**

※(1) 県ほ吉岐地区：平成4～14年度に深江田原で県営のほ場整備事業を行った地区のこと（整備面積344ha）